



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社フレクト 上場取引所 東  
コード番号 4414 URL <https://www.flect.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 黒川 幸治  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長CFO (氏名) 塚腰 和男 TEL 03(5159)2090  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|               | 売上高   |      | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 四半期純利益 |   |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
|               | 百万円   | %    | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円    | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 1,483 | 26.5 | 37   | — | 37   | — | 26     | — |
| 2023年3月期第1四半期 | 1,172 | —    | △26  | — | △27  | — | △20    | — |

|               | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
|               | 円 銭             | 円 銭                        |
| 2024年3月期第1四半期 | 8.82            | 8.27                       |
| 2023年3月期第1四半期 | △6.85           | —                          |

- (注) 1. 2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、2022年3月期第1四半期における四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。  
2. 2023年3月期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

|               | 総資産   | 純資産   | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
|               | 百万円   | 百万円   | %      |
| 2024年3月期第1四半期 | 2,930 | 1,560 | 53.3   |
| 2023年3月期      | 2,881 | 1,530 | 53.1   |

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,560百万円 2023年3月期 1,530百万円

### 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |      |      |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 2023年3月期     | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 |
| 2024年3月期     | —      | —      | —      | —    | —    |
| 2024年3月期（予想） | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

|    | 売上高   |      | 営業利益 |       | 経常利益 |       | 当期純利益 |      | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-------|------|----------------|
|    | 百万円   | %    | 百万円  | %     | 百万円  | %     | 百万円   | %    | 円 銭            |
| 通期 | 6,395 | 20.5 | 553  | 114.5 | 547  | 114.6 | 385   | 73.1 | 129.43         |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

|                     |            |            |            |            |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期1Q | 2,993,760株 | 2023年3月期   | 2,976,560株 |
| ② 期末自己株式数           | 2024年3月期1Q | 37株        | 2023年3月期   | 37株        |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計)    | 2024年3月期1Q | 2,984,237株 | 2023年3月期1Q | 2,922,055株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....       | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 .....           | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 .....           | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....  | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....         | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 .....             | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 .....             | 5 |
| 第1四半期累計期間 .....                | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....      | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) .....          | 6 |
| (会計方針の変更) .....                | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ..... | 6 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....  | 6 |
| (セグメント情報等) .....               | 6 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、コーポレートビジョンである「あるべき未来をクラウドでカタチにする」のもと、クラウド先端テクノロジーとデザインで企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援するマルチクラウド・インテグレーターです。

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の緩和が進み、経済活動の回復が進展しつつある一方で、物価上昇、金利上昇、海外経済の減速懸念等、先行き不透明感が継続しております。

当社が属するDX市場に関して、DXには様々な定義がありますが、日本経済団体連合会によれば、単純な改善や自動化、効率化をもってDXとは言い難く、社会の根本的な変化に対して、新たな価値を創出するための改革がDXと定義されております(出典:日本経済団体連合会「Digital Transformation(DX)」2020年5月19日)。コスト削減を目的とした、紙からデジタルへの置き換えといった社内のアナログな業務やデータをデジタル化する「守りのDX」から、収益や顧客エンゲージメントの向上を目的とした、新しい顧客体験を創出する「攻めのDX」にシフトすることが求められています。「攻めのDX」のステップとして、顧客接点の変革、サービス商品の変革、最後にビジネスモデルの変革となり、達成難度も高く、これを実現すると企業の高い競争力が獲得でき、この「攻めのDX」こそがDXの本質と言えます。

日本企業において、ビジネス変革等の「攻めのDX」の必要性を強く感じる割合が約9割となりますが、その背景にはデジタル技術の普及による自社の優位性や競争力が低下することの懸念があります。(出典:独立行政法人情報処理推進機構(IPA)「デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査(2019年5月17日)」)一方で、DXが成功した企業の割合はわずか6.6%(出典:アビームコンサルティング株式会社「日本企業にとってのDXの本質(2020年度)」)であり、DX推進の上位課題に「デジタル人材・スキルの不足」といった人や組織の課題(出典:総務省「令和3年版情報通信白書(2021年7月30日)」)が挙げられております。

さらに、新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響により、各企業においてはリモートコミュニケーションを含めた業務のオンラインへのサービス転換や柔軟な労働環境への急速なシフト等の取り組みが加速しており、DXは喫緊の経営課題となっております。

このような環境下、国内DX市場の規模は、2021年度の2兆3,174億円から2030年度には6兆5,195億円に拡大すると予測されております(出典:株式会社富士キメラ総研「2023 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」)。また、DX実現を支える国内パブリッククラウドサービス市場は2022年~2027年にかけて16.8%の年平均成長率で推移し、2027年の市場規模は2022年比2.2倍の4兆9,278億円になることが予測されております(出典:IDC Japan株式会社「国内パブリッククラウドサービス市場予測、2023年~2027年」)。

当社においては、「クラウドインテグレーションサービス」及び「Cariotサービス」の2つのサービスについて事業運営を行ってまいりました。なお、当社の事業はクラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。

#### (クラウドインテグレーションサービス)

当第1四半期累計期間において、持続的な成長を見据えて新規顧客の獲得に注力した結果、今後の取引拡大が期待できる大手企業顧客を多数獲得しました。大手企業(注1)の「四半期契約顧客数(注2)」は40社(前年同期は34社。前四半期は33社)となり、大手企業の「顧客当たりの四半期平均売上高(ARPA)(注3)」については33.2百万円(前年同期は30.8百万円。前四半期は41.7百万円)となりました。

取り組みとしては、従来からの強みであるIoT/MobilityやAIのサービスづくり、法人向けECサービス(B2B)やリアル店舗と連携するECサービス(B2C)、顧客とつながるコミュニティサービス、API(注4)連携及びID統合のプラットフォーム構築による顧客体験の向上といった「攻めのDX」を支援しました。

引き続き、大手企業の主力事業領域におけるSalesforceプラットフォームを活用したマルチクラウド案件が業績貢献しています。なお、事業領域の拡大に向けて官公庁や公共領域の体制を強化するなか、経済産業省からSalesforce案件を受注しました。当社初となる中央省庁との直接契約となっており、今後の取引拡大を図ってまいります。

当社の強みの一つであるAPI連携プラットフォームのMuleSoft導入支援については、既存顧客の継続開発に加え、多数の新規顧客を獲得しました。初期開発はスモールスタートですが、第2四半期以降の開発規模拡大を見込んでいます。

新たに注力しているOktaを活用したID統合プラットフォームの導入支援については、既存顧客の継続開発を受注しながら、新規引き合いに対する提案活動を進めています。

2023年3月期第3四半期で発生した不採算プロジェクトについては、予定通りに当第1四半期末で納品検収が完了したものの、一部追加対応が発生したため、第2四半期に対応することとなりました。他のプロジェクトは順調に進捗していることから、追加対応に関する増加コストは吸収できるものと見込んでいます。

クラウドエンジニア等の専門職従業員数(注5)については、新卒25人の入社を含め、2023年6月末時点で233人(前年同期は148人、前四半期は192人)と、計画を上回るペースで増加しました。

注

1. 大手企業：日経225、日経400、日経500のいずれかに採用されている企業、または当該企業のグループ企業や当該企業に準ずる売上規模(1,000億円以上)を有している企業
2. 四半期契約顧客数：再販案件を除いた四半期会計期間における契約顧客数。再販案件とは当社が仕入れたライセンスを顧客に再販売するリセールにあたり、当社においては金額が僅少なため、当該顧客は除く
3. 顧客当たりの四半期平均売上高(ARPA)：Average Revenue per Accountの略(顧客当たりの平均売上高)で、再販案件を除いた顧客当たりの四半期平均売上高。再販案件を除いた四半期売上高÷四半期契約顧客数により算出
4. API：Application Programming Interfaceの略でソフトウェア同士が互いに情報をやりとりするのに使用するインタフェース仕様
5. 事務職を除いたクラウドインテグレーションサービス部門のエンジニア、マネージャー等の専門職

(Cariotサービス)

当第1四半期累計期間において、「クルマと企業をつなぐドライバー働き方改革クラウド」のサービスコンセプトのもと、製品競争力を向上させました。具体的には、リアルタイム位置情報機能や運転報告機能のユーザビリティ向上に加え、車載デバイス取得データの品質向上を実現しました。マーケティング及び営業活動においては、ターゲット顧客である中小企業に注力したことで、契約数は307件と過去最高を更新しました。引き続き、競争優位性が生かせる領域へ注力しながら着実な事業展開を図っていきます。

上記により、当第1四半期累計期間における当社の経営成績は、売上高1,483,932千円(前年同期比26.5%増)、売上総利益582,386千円(前年同期比28.9%増)、営業利益37,736千円(前第1四半期累計期間は26,980千円の損失)、経常利益37,380千円(前第1四半期累計期間は27,862千円の損失)、四半期純利益26,306千円(前第1四半期累計期間は20,022千円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における財政状態は、資産合計は2,930,598千円(前事業年度末比1.7%増)、負債合計は1,369,718千円(前事業年度末比1.4%増)、純資産合計は1,560,880千円(前事業年度末比2.0%増)となりました。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より62,556千円増加し、2,639,774千円となりました。これは主に、現金及び預金が91,090千円減少したこと、また売掛金及び契約資産が147,937千円増加したこと等によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末より13,461千円減少し、290,824千円となりました。これは主に、新卒採用にかかる長期前払費用の流動資産への振替により14,360千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より34,607千円増加し、803,283千円となりました。これは主に、買掛金が31,806千円減少し、未払法人税等が18,069千円減少した一方で、未払消費税等が43,424千円増加し、前受金が36,637千円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末より16,095千円減少し、566,435千円となりました。これは、長期借入金を16,095千円返済したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末より30,582千円増加し、1,560,880千円となりました。これは主に、四半期純利益26,306千円の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月11日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

|               | 前事業年度<br>(2023年3月31日) | 当第1四半期会計期間<br>(2023年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| <b>資産の部</b>   |                       |                            |
| 流動資産          |                       |                            |
| 現金及び預金        | 1,155,022             | 1,063,931                  |
| 売掛金及び契約資産     | 1,224,494             | 1,372,432                  |
| 商品            | 25,228                | 31,591                     |
| 仕掛品           | 10,193                | 20,072                     |
| 貯蔵品           | 46                    | 126                        |
| 前渡金           | 7,226                 | 7,732                      |
| 前払費用          | 147,890               | 135,486                    |
| その他           | 7,115                 | 8,400                      |
| 流動資産合計        | 2,577,217             | 2,639,774                  |
| 固定資産          |                       |                            |
| 有形固定資産        | 103,216               | 105,201                    |
| 無形固定資産        | 67,644                | 66,558                     |
| 投資その他の資産      | 133,425               | 119,064                    |
| 固定資産合計        | 304,285               | 290,824                    |
| 資産合計          | 2,881,503             | 2,930,598                  |
| <b>負債の部</b>   |                       |                            |
| 流動負債          |                       |                            |
| 買掛金           | 369,330               | 337,524                    |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 50,580                | 58,860                     |
| 未払金           | 69,690                | 91,980                     |
| 未払費用          | 96,680                | 75,914                     |
| 設備未払金         | —                     | 9,483                      |
| 未払法人税等        | 29,142                | 11,073                     |
| 前受金           | 74,096                | 110,734                    |
| 預り金           | 16,813                | 16,911                     |
| 役員賞与引当金       | 7,282                 | —                          |
| 受注損失引当金       | 17,908                | 10,527                     |
| その他           | 37,150                | 80,274                     |
| 流動負債合計        | 768,676               | 803,283                    |
| 固定負債          |                       |                            |
| 長期借入金         | 582,530               | 566,435                    |
| 固定負債合計        | 582,530               | 566,435                    |
| 負債合計          | 1,351,206             | 1,369,718                  |
| <b>純資産の部</b>  |                       |                            |
| 株主資本          |                       |                            |
| 資本金           | 692,163               | 694,301                    |
| 資本剰余金         | 682,162               | 684,300                    |
| 利益剰余金         | 156,058               | 182,365                    |
| 自己株式          | △87                   | △87                        |
| 株主資本合計        | 1,530,297             | 1,560,880                  |
| 純資産合計         | 1,530,297             | 1,560,880                  |
| 負債純資産合計       | 2,881,503             | 2,930,598                  |

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

|                         | 前第1四半期累計期間<br>(自2022年4月1日<br>至2022年6月30日) | 当第1四半期累計期間<br>(自2023年4月1日<br>至2023年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 売上高                     | 1,172,859                                 | 1,483,932                                 |
| 売上原価                    | 721,176                                   | 901,545                                   |
| 売上総利益                   | 451,683                                   | 582,386                                   |
| 販売費及び一般管理費              | 478,664                                   | 544,650                                   |
| 営業利益又は営業損失(△)           | △26,980                                   | 37,736                                    |
| 営業外収益                   |   |   |
| 助成金収入                   | -   | 330                                       |
| 雑収入                     | 31  | 52  |
| 営業外収益合計                 | 31  | 382                                       |
| 営業外費用                   |   |   |
| 支払利息                    | 912                                       | 738                                       |
| 営業外費用合計                 | 912                                       | 738                                       |
| 経常利益又は経常損失(△)           | △27,862                                   | 37,380                                    |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | △27,862                                   | 37,380                                    |
| 法人税等                    | △7,840                                    | 11,073                                    |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△)       | △20,022                                   | 26,306                                    |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

II 当第1四半期累計期間(自2023年4月1日 至2023年6月30日)

当社は、クラウドソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。